

— 身近なお寺の情報誌 —

ガナ ガナ

組報
かながわ
浄土真宗本願寺派

VOL.25

善教寺／内陣壁画



親鸞聖人750回大遠忌法要の「満座となる1月16日の日中法要に引き続き「御消息発布式」が行われ、「ご門主が「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息」を朗読された。50年に一度の大遠忌法要是昨年4月9日から本山・御影堂で厳修され、65日間にわたり115座がつとめられた。11月までの団体参拝を中心とした法要には40万人を超える門信徒が全国、世界各地から参拝。大遠忌法要の総まとめともなる1月9日から16日までの「御正當」にも多くの人々が参拝、「勝縁をともどもに喜んだ」。

※「御消息」とはお手紙のこと。特に浄土真宗では、さまざまに縁に際して、歴代の宗主が、そのおこころを広く伝えるために出される書簡を「御消息」と称している。

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を 機縁として「新たな始まり」を期する消息

昨年の四月九日よりお勤めしてまいりました親鸞聖人七百五十年大遠忌法要是、本日ご満座をお迎えいたしました。各地から多くの方々にご参拝いただき、六十五日間百十五座にわたるご法要を厳粛にお勤めすることができましたのは、仏祖のご加護と宗祖のご遺徳のおかげであり、御同朋御同行の方々の報恩謝徳のご懇念のたまものと、まことに有り難く存じます。

顧みますと、ご法要の始まる直前の三月十一日、東日本大震災がおこりました。その後も各地で地震、豪雨など災害が続き、大変な一年となりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。法要参拝を楽しみに待ちながら、災害やさまざまの理由で参拝できなくなつた方々のことを、忘れることができません。

地球の歴史を考えます時、自然現象としての地震や豪雨は、数限りなくあつたことでしょう。しかし、それが深刻な災害

となるのは、人間のあり方、社会のあり方によります。特に、今回の原子力発電所の事故は、自然の調和を破り、後の世代に大きな犠牲や負担を強いることになりました。これは肥大した人間の欲望のもたらしたところであります。

聖人は、凡夫には清らかな心も真実の心も存在しないとお示しになりました。それは、阿弥陀如来の光に照らされて明らかになる私の姿です。凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていただきましょう。阿弥陀如来はいつでも、どこでも、照らし、よびつづけ、包んでいてくださいます。

本願念佛のご法義は、時代が変わり、社会が変わつても、変わることはありません。しかし、そのご法義が活きてはたらく場である現代の社会は、地域によつて異なり、時とともに変わります。ご法義を伝え、広めるための宗門の組織も、社会の変化に応じて変わる必要があります。歴史を顧みて、受け継ぐべき伝統を確かめ、創造的な活動を育てていかなければなりません。本年四月一日から、宗門の体制が改められますのも、時代に即応する営みの一つであると言えまします。新しい体制のもとで、一人ひとりが抱える課題を大切にし、お念佛を喜び心豊かに生きることのできる社会を目指しましよう。このたびの大遠忌法要が、新たな歩みを進める機縁となりますよう念願いたします。

平成二十四年
二〇一二年 一月十六日

龍谷門主 釋即如

御旧跡めぐり④

特集

建永の法難の人々を訪ねて

●建永の法難

親鸞聖人は、建仁元年（一二〇

一）二十九歳のときに、比叡山を下りて吉水の法然聖人のもとに入門した。法然聖人は、それまでの権力者や貴族中心の仏教と違い、いかなる人々も「南無阿弥陀仏」の念仏によつて平等に救われると説き、その教えは貴族のみならず、新興勢力の武士や庶民、女性たちにも急速に広まつていつた。

しかしこれをこころよく思わな
い旧来の仏教教団は、専修念佛の教えは国の秩序を乱す誤った教えだと決めつけて批判をするようになつた。元久元年（一二〇四）には比叡山の衆徒たちから念佛集団を避難する声が上り、さらに元久二年（一二〇五）、奈良の興福寺からは念佛の禁止を求める「興福寺奏状」が朝廷に提出され、法然教団は窮地に追いやられた。

こうした状況下で事件は起きた。建永二年（一二〇七）十二月、後鳥羽上皇が紀州熊野へ参詣に出かけたその留守中、上皇が寵愛する女官で松虫と鈴虫という二人の姉妹が、法然門下の住蓮房・安楽房の主催する鹿ヶ谷での念佛法要に

参詣した。二人の姉妹は、彼らが唱和する『六時礼讃』の美声に魅了され、そのまま出家したのであつた。

熊野から戻つた上皇は激怒。さらにこれが密通と噂になり、念佛者たちは逮捕。翌建永三年（一二〇八）二月下旬には住蓮・安楽ら四人が死罪、法然・親鸞ら八人が流罪と判決され、とうとう専修念佛停止が宣言された。これが「建永の法難」（一二〇八年は承元元年でもあるので「承元の法難」ともいう）といわれる迫害である。

①住蓮房・安楽房ゆかりの寺

後年、赦免となり流罪地から帰京した法然聖人は、「住蓮・安樂の居住していた鹿ヶ谷草庵跡地に、兩人を偲んで一寺を建立、これを「住蓮山安樂寺」と名付けた。

安樂寺は、哲学の道にほど近い、法然院の隣りに位置する。境内は閑かな佇まいを呈し、一隅には住蓮・安樂の墓がある。ちなみに、兩人の墓は住蓮が処刑されたといわれる馬淵（滋賀県近江八幡市千僧供町）にも伝わつてゐる。

安樂寺の拝観日は、境内を彩る花の時期に限られているので確認したほうがよい。

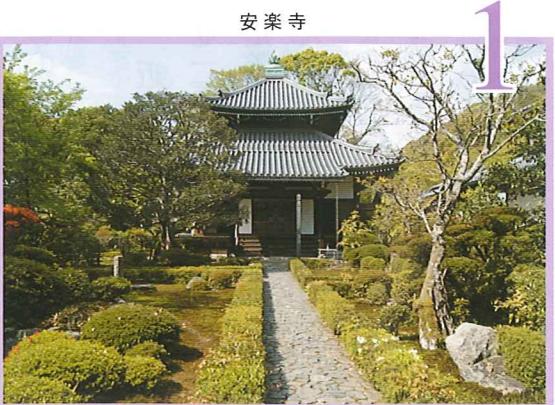


光明坊

2

②松虫・鈴虫のゆくえ

一方、松虫・鈴虫姉妹は、当時まだ十九歳と十七歳。今出川左大臣の娘として生まれ、容姿端麗にして教養も豊かであつたため、こそさら後鳥羽上皇の寵愛を受けていた。だが無断で出家したことでもはや京都に居ることもできず、如念尼の導きで瀬戸内海に浮かぶ



安楽寺

1

■所在地／京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町21
■一般公開／さくら4月上旬の土日。つつじ5月上旬の土日・祝日。さつき5月下旬～6月上旬の土日。鹿ヶ谷力ボチャ供養7月25日。もみじ11月全日・祝日。12月上旬の土日。
■アクセス／京都駅から市バス5号系統岩倉操車場行きで「真如堂前」下車、徒歩10分。

■所在地／京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町21
■一般公開／さくら4月上旬の土日。つつじ5月上旬の土日・祝日。さつき5月下旬～6月上旬の土日。鹿ヶ谷力ボチャ供養7月25日。もみじ11月全日・祝日。12月上旬の土日。
■アクセス／京都駅から市バス5号系統岩倉操車場行きで「真如堂前」下車、徒歩10分。

境内の法然堂には法然、如念尼、松虫、鈴虫の尊像が安置されています。また、その四名の墓もあり、今なお参詣者が絶えない。松虫・鈴虫は、この地でしづかに念佛三昧の生涯を送り、姉は三十五歳、妹は四十五歳で往生を遂げたという。

■所在地／広島県尾道市瀬戸田町御寺757
■アクセス／JR三原駅から徒歩7分の三原港
↓三原・瀬戸田共同ラインの高速艇で27分、瀬戸田港下船、本四バス西回りに乗り換え18分、バス停光明坊下車。車では西瀬戸道生口島北ICから国道317号経由で8km。

「世のなか安穏なれ」を生きる

あんのん

善龍寺 斎藤 信行

「世のなか安穏なれ」というスローガンを掲げて大々的に催された親鸞聖人750回大遠忌法要は、2012年1月16日に行われた御正當法要をもって終わりを迎えた。各々がいろいろな思いを持って参拝されたであろうが、やはり、その中心は「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」という宗祖と同じ願いであったはずである。「世のなか安穏なれ」という願いの背後には、安穏ではない「世のなか」が前提されていなければならないが、宗祖から800年ほどを隔てた今、私たちはどのような世のなかを生きているのだろうか。

近年の金融・財政危機と世界同時不況は、格差と貧困の問題を一気に露呈し、3・11による原発事故は、巨大技術の生み出した弊害を完膚なきまでに突きつけた。経済的・物質的な豊かさは人々に多くの恩恵をもたらしたが、その反面、大きな問題を残したものである。また、新自由主義政策によつてもたらされた雇用形態の変動は、「生きづらさ」を感じる人たちを大量に生み出しているという。企業の利潤を追うだけのような労働、商品の購買・消費に追いやられる生活は、何を物語つて居るのだろうか。「どう生きるか」を支えるのが経済の根本でなければならないが、逆に、経済によつて「どう生きるか」が意味づけられてはいいないか。このような、経済の優位が支配するかに見える現実は、私たちの価値序列のなかで経済効率の追求が支配的位置を占めているからにほかならない。私たちはいやおうなく現実に制約されているのであるが、その現実を支えているのも私たちなのである。

経済成長のさきに安穏な世のなかを見通すことは可能なのか。

人間の尊厳や平等よりも利便性や効率性を優先する経済的価値が、損得勘定に基づいていることは疑い得ないし、その根底には私利私欲を満たそうとする自己中心性がある。時代は変われども、人間の属性が本質的に「煩惱具足の凡夫」（＝自己中心的な存在）である限り、そこがつねに「穢土」（＝厭うべき世の中）であることに変わりはない。しかし、だからこそ、弥陀の本願は私たちに自己の安樂ではなく、世のなかの安穏を願わせてやまないのだ。

この世界を生きている限り、念佛者であるうが誰であろうが、人は社会との関わりをもって生きている。暗く希望を失ったかに見える現代社会のただ中で、私たちは「世のなか安穏なれ」をどう生きるか。誰もが人間らしく生きられる世のなかを実現するためには、何が必要であろうか。

思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。

（魯迅「故郷」竹内好訳「魯迅文集一」からま文庫）

「世のなか安穏なれ」という願いは、今とは異なる〈現在〉があり得ることを私たちに教えてくれる。それは、草木が生い茂るようにおのずと実現するものではない。無論、仏や神に祈願することでも実現するものでもない。魯迅がいつ希望と同じように、「世のなか安穏なれ」という願いを生きる人がひとりでも多くなれば、そこに道が切り開かれてくるのではないか。いま、私たちに求められていることは、たとえ不十分でも真摯に念佛の道を生きようとすることである。

伝わる浄土真宗へ 日本からボーランドへ 「光輪寺」



村石恵照住職とアグネス師

横浜市港北区にある光輪寺は東横線の日吉駅を下車し、西口より東急バス（日21系統）で約7分、バス停の下田地蔵尊を下車し徒步で約3分のところに位置する。

300年の歴史がある。また、外陣にはボーランドとタイで手に入れたお釈迦さまの像が飾られていた。

今までにインド

光輪寺は1719年に築地本願寺の直参寺院（本願寺に直接ご奉仕する役職の寺院）として建立された。建立当時は築地本願寺の境内に寺院があつたが、昭和40年の制度改正に伴い港北に移転して今に至る。現在のご住職である村石恵照師が子どもの頃は、築地本願寺の境内に住んでいたため、築地本願寺を訪れるとその当時よく遊んでいたことを思い出すそうだ。

光輪寺のご本尊は、建立当時にご本山から下付されたもので、

寺院活動では、御門徒の家族それぞれのつながりを大切にしている。ご法義を伝える時間も、淨土教を研究している。



光輪寺

本堂

ご門徒との交流の時間も充分にとれるようにと日々考えている。通夜と葬儀では、どのようなお勤めをしているのかをわかりやすく、式次第を作成し皆さまにお配りしている。

光輪寺は、ポーランドの首都ワルシャワ市に「ポーランド浄土真宗サンガ」というお寺を建立した。ポーランドは日本からの直行便が無く、周辺の国で乗り継ぎをしなければならないため、日本から約18時間かかる。寺院は国際空港から車で約15分のところに位置しており、その主管（代表）は光輪寺坊守の妙珠アグネス・エンジエエヌカさんである。アグネスさんは、ヨーロッパの女性として、初めて日

アグネス師とメンバー



「ポーランド浄土真宗」の礼拝堂

◆光輪寺メモ◆

〒223-0064
横浜市港北区下田町3-2-9
電話 045-561-8671

新鮮さと歴史に満ちた光輪寺へ、是非お参り下さい。

最後に村石住職から一言、「御同朋に改めて目覚めていく神奈川組であつてほしい。」

本人と一緒に式で得度された方もある。ポーランドは人口のおよそ95%がキリスト教（カトリック）を信仰している国であるため、非常に困難な中で、浄土真宗の教化活動をされている。現在、サンガの参加者は30人ほどで構成されており、主だった活動にRetreat（リトリート）という合宿がある。作法やお勤めの練習等をするもので20年近く毎年行っている。村石住職もりトリートに毎年参加している。報恩講には村石住職がポーランドへ行つてお勤めされたボーランドの地にも伝わっている。

宗祖の「大遠忌法要」は、京都食いしん坊探訪 新たな発見の年でもありました。

長念寺坊守 小林 史子

昨年四月から今年一月かけて、ご本山での『親鸞聖人七五〇回大遠忌』法要がお勤まりになりました。私はこの期間にある時はご門徒の皆さまと、ある時は家族と五座の法要と降誕会にお参りする機会を頂きました。五十年先はお参りする事は出来ないかも知れない…と思うと、その機会を大切にお参りさせていただきました。

長念寺では毎年、降誕会と御正忌にご門徒と参拝をしていますが、何度か京都に行くうちに、お土産選びも楽しくなり、我ながら選び方も洗練されたように思います。門徒さんとの団参では、私の大好きなお菓子の一つ『阿闍梨餅』（阿闍梨餅本舗 京菓子司 満月）を紹介し、みんなで買つて帰り沢山の方に喜んでいただきました。そしてもう一つ、『茶の菓』（マールブランシュ）という抹茶をふんだんに使つたお菓子もおすすめです。こちらは、和洋のティリストが絶妙にマッチしており、素晴らしいお菓子です。その他にも、てぬぐいや漬物等々、京都では外せないお土産はたくさんあります。私のベスト1とも言える一品は、いづうの『鯖寿司』です。完全に私の好みだけでお話しさせて頂きますが、肉厚の鯖に計算しつくしたご飯の量、京都に行つたら他のお土産は買わなくともこれだけは買つて帰りたい一品になっています。京都で勉学に励んでいる息子の帰省時に二本買つてくるように頼んだのですが、「一本四千円は高い」とお願いしてしまったほどです。

この一年は、本山とのご縁にたくさん巡り合わせて頂いた年でもあり、私の京都食いしん坊探訪新たな発見の年でもありました。

本 ット ケ な い 女 性 た ち

「ハツとした時」

円光寺 石川 康亮

子供の頃、「誕生日」といえば歳をとることよりも、プレゼントをもらつたり、ケーキを食べたりして、その日一日は自分が主役になり自分にとつて特別な日なのだ！と誰もが思つたことであろう。

ある時、門徒さんと集まる機会があり「歳」の話になつた。「若い頃に戻りたくても戻れない」などと話していたら、「五十歳を過ぎたら誕生日を迎えると親の有難みを感じるようになつた」という一言でハツとさせられた。

いて、誕生日は自分の生まれた日であるが、両親や周りの人があいての自分の存在があるのだ、ということを思い返し感謝する機会でもあるのだと感じた。もちろん普段も色々な場面で感謝の気持ちはあるが、いつも感謝どころか当たり前の気持ちになつてしまつている。

日々暮らしている中で、生きていることが当たり前、食べられることが当たり前など、色々なことを当たり前と感じてしまつてゐる自分がいて、当たり前なことだけではないということを忘れがちになつてしまふ。

ハツとして気付かされるといふことは多々あるが、気付きながらも普段からその感じたことを持続するということは、なかなか難しいものである。

「誕生日を迎えると親の有難みを感じるようになつた」と聞

これから何回ハツとするだろうか、またその時の思いを持続できるようになるのだろうか。次の誕生日には親を思う気持ちに自分で気付けるよう、日々のハツとした瞬間を大切に、日々精進していきたい。



5月

神奈川組仏教壮年会総会

組内寺院から集まつた会員が活発に活動しています。宣正寺の早島大英師を講師に「歎異抄に聞く」をテーマに年4回程の研修会を開催しています。

6月14日(火)～16日(木)

■親鸞聖人750回大遠忌法要・神奈川組団体参拝旅行
4月～2012年1月16日まで 6期65日間 115座の法要が本山・本願寺で厳修されました。が、神奈川組では6月15日の日中法要に団体参拝をいたしました。

6月29日(水)

神奈川組の仏教婦人会連盟へめぐみ会総会と研修会

総会と研修会が清来寺にて行われました。研修会では山梨の遠山章信師から「この広い世界いっぱい」というテーマでお話をいただきました。めぐみ会は組内各寺院の婦人会の連盟です。毎年総会、研修会を開催し、各婦人会との交流と親睦をはかつています。ダーナ(布施)活動として募金を行い、宗派を通して社会福祉に役立てる活動をしています。

7月26日(火)

東善寺

長谷尾芳雄前住職(91歳)が
ご往生されました。

7月28日(木)～30日(土)

子どもたちのつどいin本願寺

～キッズサンガ児童念佛奉仕団～に参加しました。

8月20日(土)

第10期連続研修会スタート

連件(連続研修会)は、門信徒の皆さんに浄土真宗のみ教えを体系的に学んでいただくことを目的に開催されています。

第10期は8月よりスタートし、偶数月の第3土曜日に開催され全12回の研修会を予定しています。

9月

9月29日(木)

「めぐみ会」研修会

鹿多証道師(兵庫)をご講師に善教寺にて1日研修を行いました。



本願寺



LogPose 2012

2013

2月

11月

10月

9月

7月

5月

11月

10月

■ 長延寺 10月10日(日)

第17世住職・継職奉告法要並びに本堂・客殿落成
慶讚法要が勤修されました。



長延寺

■ 門徒役員研修会 山本政秀東京教区教務所長を講師に「親鸞聖人750回大遠忌法要参拝を終えて」をテーマにお話をいただきました。

■ 組・仏教壮年会 行脚 11月1日(火)

■ 善然寺 11月23日(金)

本堂・庫裏改築落成慶讃法要が勤修されました。



善然寺



善然寺

■ 組・仏教壮年会「発足20周年記念式典」 5月24日(木)

会場は新横浜国際ホテル。記念講演は、佐々木高彰師(熊本)。

■ 「めぐみ会」総会・研修会 5月

■ 南プロックお寺の林間学校 7月26日(木)～28日(土)

今年は三浦組の担当で開催されます。参加をご希望の方は所属寺までお問い合わせください。

■ 「めぐみ会」研修会 9月

■ 門徒役員研修会 行脚 10月

毎年、日帰りの日程でお寺巡りの旅行を企画しています。

■ 東京教区仏教壮年会結成記念研修会 2月23日(土)～24日(日)

展覧会

東京国立博物館140周年 特別展『ボストン美術館 日本美術の至宝』

●会期：2012年3月20日(火・祝)～6月10日(日) ●会場：東京国立博物館 平成館 特別展示室(上野公園)

アメリカのボストン美術館は、"東洋美術の殿堂"と称されます。100年以上にわたる日本美術の収集は、アーネスト・フェノロサや岡倉天心に始まり、今や10万点を超えます。海外にある日本美術コレクションとしては、世界随一の規模と質の高さを誇ります。

本展は、その中から厳選された仏像・仏画に絵巻、中世水墨画から近世絵画まで、約90点を紹介します。

修復を終え、日本初公開となる曾我蕭白〔そがしょうはく〕の最高傑作『雲龍図』をはじめ、長谷川等伯〔はせがわとうはく〕、尾形光琳〔おがたこうりん〕、伊藤若冲〔いとうじやくちゅう〕などの手による、かつて海を渡った"まぼろしの国宝"とも呼べる日本美術の至宝が一堂に里帰りします。

書籍 本願寺教学伝道研究所 佛教書レビューより <http://crs.hongwanji.or.jp/kyogaku/review/index.htm>

『佛教シネマ お坊さんが読み説く 映画の中の生老病死』 釈 徹宗・秋田 光彦 著 〈サンガ 2011年11月1日 1575円〉

本書は、相愛大学教授の釈徹宗氏と、相愛大学客員教授で映画プロデューサーを務めた経験もある秋田光彦氏との対談を収めたものである。ともに佛教者として、古今東西の映画を手掛かりに、「生老病死+葬」について語り合うが、扱う映画は佛教をテーマとしたものに留まらず、キリスト教、イスラム教など他の宗教に関するものや、「表面上に宗教的メッセージはないけれど、非常に豊かな宗教性を感じるもの」(30ページ)まで射程に入していく。

両氏は、映画の内容を話の出発点にしながらも、地域、時代によって異なる生死觀、死者儀礼のあり方などへと話題を広げていく。そうした様々な語りの中で、両氏は「関係性を構築する、すなわち何かと『つながる』こと」(51ページ)の重要性にしばしば触れている。そして、そうした「結縁」が可能な場が「映画館」であり、「お寺」であるという見方を「終章」で示している。

『そっと後押し きょうの説法』 そっと後押し僧侶の会 著 〈幻冬舎 2011年12月15日 1155円〉

テレビ朝日系の番組『やじうまテレビ!』には、伝統仏教の諸宗派の僧侶が説法するコーナー「そっと後押し きょうの説法」がある。本書は、その説法74話をまとめたものである。いずれも平易な言葉で語られていて、けっして教義を教条的に押し付けるような内容ではない。こんな説法を聴いて一日がはじめられたら、なんと素敵なことだろうと思わせるものばかりである。

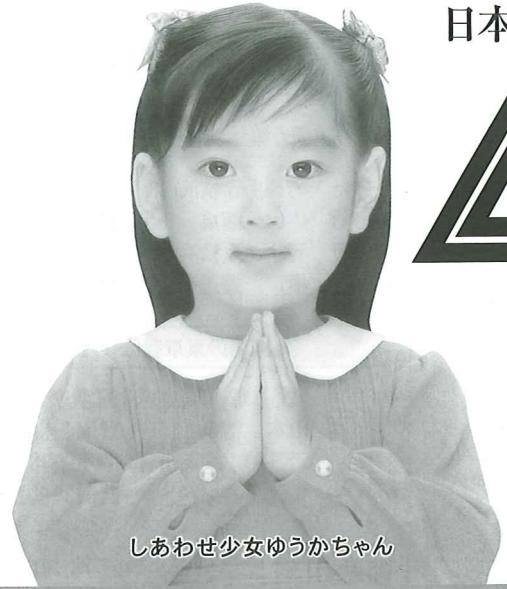
「テレビでは特定の宗教の宣伝に繋がるような放送はできません」(あとがき)とある。それにも関わらずこのようなコーナーが企画されたのは、番組スタッフの「朝、テレビをつけた人たちに今日を生きる希望と勇気を少しでも持ってもらえるような放送ができるんだろうか」(同前)との思いからである。実現したということは、これらの説法が「特定の宗教の宣伝に繋がらない」と判断されたのであろうが、それは同時に、佛教が一般の人々が考える「宗教」という枠組みには収まりきらないなものかを宿しているという証しになるのかもしれない。

『三宝を敬う 聖徳太子の佛教精神に学ぶ』 梯 實圓・中西 智海・瓜生津 隆真 著 芦屋仏教会館編 〈自照社出版 2011年6月5日 840円〉

本書は芦屋仏教会館(丸紅商店(現・丸紅)の初代社長・伊藤長兵衛氏が1927年に創立。定例仏教講座などを開催している)で、「三宝を敬う」の総題のもとに行われた、浄土真宗の教えに通じた学者3名による講話を収録したものである。

三宝とは仏(仏陀)・法(仏の教え)・僧(サンガ=仏道を歩む人々の集まり)を指し、佛教徒が帰依する(より所とする)ものである。聖徳太子が制定したとされる「憲法十七条」には「篤く三宝を敬え」とある。そこで、この講座では聖徳太子の佛教精神をテーマとして、「憲法十七条」で佛教が説かれる所以や仏・法・僧それぞれの重要性、浄土真宗における三宝の意味を語っていく。

おててのしわとしわをあわせて…しあわせ



しあわせ少女ゆうかちゃん

日本の美・日本の心をお届けします。

お仏壇の はせがわ

業界初の上場企業
関東地区81店舗・全国で114店舗

墓石・霊園も
好評お取り扱いしております。



お仏壇の
はせがわ

昭和59年 京都西本願寺阿弥陀堂
昭和62年 京都清水寺開山堂御厨子
三重塔堂内修復事業
昭和63年 福岡証券取引所
業界初の株式上場
平成6年 大阪証券取引所第2部
株式上場

グループ会社
(株)はせがわ美術工芸
(国宝美術品、寺院神社)

横浜・川崎地区的店舗ご案内

金沢文庫店 横浜市金沢区谷津町352-7 オオサワヒルズ1F **0120-767-698**
上大岡店 横浜市港南区日野5-1-25 **0120-767-628**
戸塚店 横浜市戸塚区戸塚町4670-1 **0120-767-627**
今宿店 横浜市旭区今宿東町1621 **0120-767-658**
新杉田店 横浜市磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田1F **0120-484-883**
長津田店 横浜市緑区いぶき野3-1 **0120-744-194**
鶴見駒岡店 横浜市鶴見区駒岡町4-23-4 **0120-176-761**

日吉店 横浜市港北区日吉3-4-8 リバーサイド日吉 **0120-639-010**
鷺沼店 川崎市宮前区東有馬1-1-19 **0120-876-768**
川崎店 川崎市川崎区東田町2-1 **0120-767-577**
町田森野店 町田市旭町1-8-20 **0120-768-201**
向ヶ丘遊園店 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘 **0120-594-345**
港北ニュータウン店 横浜市都筑区荏田東4-2-24 サンステージ北村1F **0120-760-576**

営業時間／午前10時～午後6時30分

日曜・祝日も営業いたしております。

わたしたちのお寺です

浄土真宗本願寺派 神奈川組

円光寺

〒210-0814 川崎市川崎区台町4-21

石川 康承 ☎ 044-266-2677

宝円寺

〒210-0838 川崎市川崎区境町5-10

飯田 琢亮 ☎ 044-222-3941

光徳寺

〒210-0848 川崎市川崎区京町1-14-3

林 信順 ☎ 044-333-3997

正樂寺

〒212-0016 川崎市幸区南幸町2-49

佐々木俊博 ☎ 044-522-1961

高願寺

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-3-12

宮本 義宣 ☎ 044-777-6544

長念寺

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1416

小林 泰善 ☎ 044-911-2549

常念寺

〒215-0033 川崎市麻生区栗木203

古市 道仁 ☎ 044-988-0205

淨照寺

〒216-0004 川崎市宮前区鷺沼2-5-7

加藤 孝充 ☎ 044-855-2780

善龍寺

〒221-0811 横浜市神奈川区斎藤分町29-51

斎藤 幸紹 ☎ 045-491-9431

善教寺

〒223-0057 横浜市港北区新羽町2396

平等 勝尊 ☎ 045-541-7684

教覚寺

〒223-0057 横浜市港北区新羽町2395

(代務)平等 勝尊 ☎ 045-949-9500

光輪寺

〒223-0064 横浜市港北区下田町3-2-9

村石 恵照 ☎ 045-561-8671

東善寺

〒224-0001 横浜市都筑区中川7-18-29

長谷尾大圓 ☎ 045-911-3509

長徳寺 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-9-1
平塚 大乗 ☎ 045-911-7351

寿福寺 〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東1-7-1
多田 龍空 ☎ 045-942-3721

最乗寺 〒224-0034 横浜市都筑区勝田町1277
日野 教秀 ☎ 045-941-3541

慈恩寺 〒224-0055 横浜市都筑区加賀原2-18-1
小泉 敬信 ☎ 045-934-8648

西勝寺 〒225-0003 横浜市青葉区新石川1-10-8
藤下 梯乘 ☎ 045-911-0156

西法寺 〒225-0025 横浜市青葉区鉄町1654
西村 信也 ☎ 045-349-7977

長延寺 〒226-0015 横浜市緑区三保町2440
雲居 玄道 ☎ 045-932-3348

最願寺 〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4-19-18
藤江 義昭 ☎ 045-571-4694

宝光寺 〒231-0062 横浜市中区桜木町3-5
藤田 恭爾 ☎ 045-201-3509

善然寺 〒232-0061 横浜市南区大岡2-26-17
長谷山顕俊 ☎ 045-741-2351

宣正寺 〒232-0063 横浜市南区中里3-20-18
早島 大英 ☎ 045-731-2679

浄光寺 〒241-0005 横浜市旭区白根8-1-18
白井 浄信 ☎ 045-953-3650

清来寺 〒241-0034 横浜市旭区今宿南町1895
曾我 求真 ☎ 045-951-0012

徳蔵寺 〒241-0816 横浜市旭区篠野台3-9-9
寺田 崇裕 ☎ 045-364-2266

蓮向寺 〒252-0336 相模原市南区当麻863-30
北條 大慈 ☎ 0427-77-3011

本願寺築地別院都市開教布教所

横浜布教所 〒240-0065 横浜市保土ヶ谷区和田2-12-19
住蓮寺 開田 蓮成 ☎ 045-341-7455

磯子布教所 〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台25-47
真行寺 中戸 達雄 ☎ 045-623-4480

地域内の東京教区寺院

妙延寺 〒215-0002 川崎市麻生区多摩美1-27-1
山本 浩真 ☎ 044-966-5304

覺永寺 〒225-0004 横浜市青葉区元石川町6391
喜代多證顕 ☎ 045-901-0570

「神奈川組」とは… 私たちの教団(浄土真宗本願寺派)は、全国に一万余りの寺院を擁し教団独自の地区割をしています。その一番小さな単位を「組(そ)」といいます。神奈川組は、川崎市と横浜市中部と北部の寺院によって構成されています。

組報かながわ VOL.25

■ 発行日 2012年3月15日 (毎年1回3月発行)

■ 編集発行 浄土真宗本願寺派
東京教区神奈川組
基幹運動推進委員会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1416 長念寺内